

令和元年度 第30回関東高等学校バスケットボール新人大会

令和2年2月9日(日) 女子 準決勝 小瀬スポーツ公園体育館 Aコート 第1試合

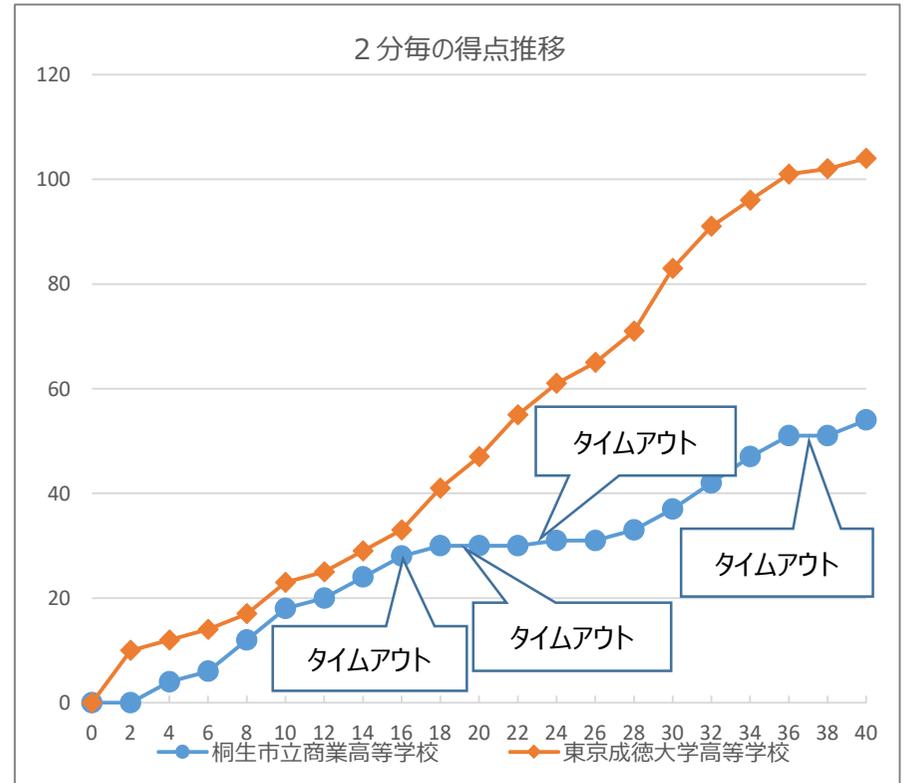
チームA 桐生市立商業高等学校 (群馬県)	54	18 1st 23	104	東京成徳大学高等学校 (東京都)	チームB
		12 2nd 24			
		7 3rd 36			
		17 4th 21			
		OT			

Aチーム： 桐生市立商業高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1		2	田村 聖花	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	2
2		3	帆足 咲											
3		5	高木 美咲											
4		10	大橋 来夢	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
5		12	松田 莉菜	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
6	*	16	内田 天空	7	0	1	3	4	1	2	2	2	2	4
7	*	22	堀越 梨々夏	17	0	4	8	24	1	3	4	0	3	3
8	*	23	内山 優美	14	2	8	4	13	0	0	3	2	1	3
9		25	米山 紫乃											
10		33	矢部 愛莉	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	2
11		37	水出 紅葉											
12		38	星野 璃音	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
13		39	町田 乃綾	10	1	3	2	5	3	3	0	2	1	3
14	*	57	船戸 姫夢	4	0	0	2	2	0	0	4	1	6	7
15	*	78	清藤 彩妃	2	0	1	1	1	0	0	3	1	1	2
HC/TEAM			西條 佑治											0
合計				54	3	18	20	53	5	8	18	8	18	26

Bチーム： 東京成徳大学高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1	*	4	山田 葵	15	0	3	7	9	1	1	0	0	9	9
2	*	5	青野 美玖	14	0	2	7	9	0	0	3	5	2	7
3	*	6	須田 理恵	12	0	1	4	5	4	4	1	0	5	5
4		7	山口 希乃夏	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
5		8	佐坂 光咲	12	2	3	1	4	4	0	1	1	4	5
6	*	9	小島 瑠生	15	0	2	6	14	3	6	1	1	4	5
7		10	山本 幸乃	0	0	0	0	4	0	0	0	0	3	3
8		11	林 こはる											
9		12	村上 瑠莉	10	1	1	3	6	1	1	1	1	1	2
10	*	13	古谷 早紀	23	0	1	9	19	5	7	3	5	7	12
11		14	鷹山 朋子	1	0	0	0	6	1	2	0	1	1	2
12		15	曾我 瞳桜子	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
13		16	高橋 美悠	2	0	0	1	3	0	0	3	0	1	1
14		17	土屋 百々	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15		18	石井 沙羅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
HC/TEAM			遠香 周平											0
合計				104	3	13	38	81	19	21	13	14	37	51



戦評

記者：仲田 浩士 (山梨県高体連)

1Q: 桐生商業、東京成徳ともマンツーマンでスタート。桐生商業は1年生5人でスタートする動きが硬い。開始2分を0-10で入る。その後、桐生商業はデザインプレーからリズムを掴むと#22のドライブからの連続得点で対抗。#23のスクープシュートも決まり18-23と盛り返して1Q終了。

2Q: 桐生商業は#23を中心に得点を重ね、27-29と肉薄する。東京成徳は得意の速い展開になかなか持ち込めないが、#13のゴール下が連続で決まると桐生商業はたまたまタイムアウト。しかしタイムアウト後も#13のBOX内でのプレーは止まらない。#4のターンアラウンドシュートも決まり、30-47東京成徳リードで前半を終える。

3Q: 東京成徳は#5が連続得点とアシストで一気に試合を動かす。流れを掴んだ東京成徳は一気呵成の攻勢に出て31-61と差を広げる。桐生商業は激しくなった東京成徳のディフェンスを前に苦しいシュートが増える。#5が3Qだけで11点をスコアした東京成徳が37-83と引き離れた。

4Q: 桐生商業は#22、#23を中心に攻めるが、東京成徳も#8の連続3Pで応戦。桐生商業も最後まで粘り強く戦うが、終始速い展開でゴールを目指した東京成徳が54-104で勝利し決勝に駒を進めた。

主審	第1副審	第2副審
丸山 淳 (山梨県)	山崎 雅洋 (栃木県)	一色 渉 (茨城県)